

特集

命を守る リボン運動

身近で起こっているさまざまな社会問題などに、そつと理解と支援の心を寄せる。そんな活動があることをご存知ですか？
日本で、世界で、アウェアネス・リボンを使用したリボン運動が行われています。色が表す意味を知ることによって支援と理解の輪が繋がります。

アウェアネス・リボン (Awareness ribbon)

輪状に折ったリボンやそのイラストのこと。身につけたり、ステッカーを貼ることで、リボンの色が意味する社会問題や社会運動、難病などに対する支援や賛同の意思を表明することができるとして、アメリカ・イタリア・オーストラリアなど、世界各地で使用されています。

リボンの色とそれが意味する事柄は必ずしも1対1ではなく、国によっても異なりますが、レッドリボン(エイズに対する理解や支援のシンボルとして国際連合エイズ合同計画(UNAIDS)で採用)のように、国際的に認知され、使用されているものもあります。

* Awareness…知ること、気づくこと

特集

命を守るリボン運動

家庭児童相談室

- ◆相談時間 月曜～金曜日、午前9時～正午、午後1時～4時
* 祝日、年末年始を除く
- ◆場所 中央市民会館4階 家庭児童相談室
- ◆対象 18歳未満の児童と保護者など
- ◆問合せ ☎964-2111 (代表)
* 事前に予約をしていただくことをお勧めします。電話相談も受け付けています

女性・DV相談支援センター

配偶者(元配偶者や内縁関係者も含む)や、交際相手など親密な関係にある(あった)方から振るわれる暴力(身体的暴力・精神的暴力・性的暴力・経済的暴力)の悩みを専門スタッフが一緒にサポートしていきます。

- ◆相談時間
 - ①面接(予約制)・電話 月曜～金曜日、午前10時～正午、午後1時～4時
問合せ ☎963-9176
 - ②電話のみ 水曜・金曜日、午後5時～8時
問合せ ☎970-7415
- * 祝日、年末年始を除く
- ◆場所 予約時にお伝えします

児童虐待の防止は 保護者の不安を取り除くことから



家庭児童相談室
さんか
三箇相談員

近年、家族の形態が多様化するにしたいが、何でも相談できる人が周りにない、コミュニケーションが苦手などの理由で子育てに行き詰まり、子どもによくない態度をとってしまうという保護者のお話を耳にします。

そういった方に対しては、まずじっくりとお話を伺ってストレスをすべて吐き出してもらいます。その上で、余計なストレスなく子育てができる方法として、子どもを認めてあげる・どならない子育て方法をお伝えしています。この子育て方法については、11月ごろにダイジェスト版の講座を開催する予定です。

家庭児童相談室は、児童福祉の最前線の相談窓口として、保護者から育児などの悩みや、子どもから生活や勉強の相談を受け付けています。どこに相談したらいいかわからない、何から手をつけていいのかわからないとお悩みの方は、どうぞ家庭児童相談室にご相談ください。相談室で解決の糸口が掴めない場合でも、より適切な窓口をご案内します。一緒に悩みを整理していきます。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

これでもまだ一部 リボンの意味、色いろ

乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的とした、アメリカ発祥の世界規模の運動のシンボル。日本では、10月の乳がん月間に合わせ、東京や神戸のランドマークがピンクにライトアップされるなどの取り組みが展開されています。



〈ピンクリボン〉



〈ティールアンドホワイトリボン〉

「ティール」とはコガモの頭から首にかけての、青みがかった緑の羽の色を表します。アメリカ発祥の子宮頸がんの予防や検診の推進、正しい知識の普及などを目的とした運動のシンボル。日本では、民間団体で啓発セミナーなどが開催されています。



〈パープルリボン〉

女性に対する暴力根絶を目的とした、アメリカ発祥の国際的な運動のシンボル。日本では、内閣府男女共同参画局が活動の一環として、毎年11月25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」に合わせ、東京タワーなどでパープル・ライトアップが行われます。



〈オレンジリボン〉

日本発祥の児童虐待防止運動のシンボル。国は、平成19年から毎年11月を児童虐待防止推進月間とし、家庭や学校、地域など社会全般にわたり、児童虐待問題に対する関心と理解を得られるよう、啓発ポスターや標語の公募、全国フォーラムなどを開催しています。



〈グリーンリボン〉

移植医療への理解と支援の普及を目的とした、アメリカ発祥の国際的な運動のシンボル。日本では、平成27年10月に臓器移植普及推進月間に合わせて、東京タワーなど全国各地のランドマークがグリーンにライトアップされるイベントなどが行われました。



〈ゴールドリボン〉

小児がんへの理解の促進や治療研究などの支援の普及を目的とした運動のシンボル。アメリカが発祥の運動で、日本では平成18年に開催された小児がんシンポジウムから本格的な活動が始まりました。



〈シルバーリボン〉

脳や心に起因する疾患(障がい)およびメンタルヘルスへの理解を促進することを目的とした運動のシンボル。アメリカで始まった統合失調症への理解を示す運動から発展したもので、日本では平成14年から本格的な運動が始まりました。

今回紹介したほかにも、イエローリボン(障がい者支援)、ブルーリボン(受動喫煙防止)、ホワイトリボン(母体保護)など、さまざまな色がさまざまな思いを込められて世界中で使われています。また、同じ色でも複数の意味で用いられているものもあり、例えば、パープルリボンは女性への暴力防止運動のほか、すい臓がん撲滅運動、アルツハイマー病への理解促進運動などのシンボルでもあります。

自作したものを身に着けるだけで始めることができます。何を意味している色なのかを周りの人に伝え、関心を広めることも一つの支援です。関心のある社会問題などのアウェアネス・リボンを身につけて、理解と支援の輪を広げてみてはいかがでしょうか。

市では、各種がん検診の実施や児童虐待の防止、婦人保護などに取り組んでいます。悩んでいる方は市役所にご相談ください。

がん検診を受診しましょう!

日本人の死因の第1位となっているがんは、さまざまな色のリボンで理解や予防が叫ばれています。平成26年には年間約37万人が亡くなり、生涯のうちに2人に1人ががんにかかるという推計がされています。しかし、近年では、医療の進歩により、進行していない初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで約50%のがんが治るといわれています。初期ではほとんど自覚症状のないがんもあります。がん検診を受診してがんによる死亡リスクを減らしましょう。

◆市で行っているがん検診の種類

- 大腸がん
- 子宮頸がん
- 肺がん
- 口腔がん
- 胃がん
- 乳がん
- 前立腺がん
- など

* 市が実施するがん検診が受けられる対象者や費用は、検診の種類ごとに異なります。詳しくは、保健カレンダーまたは市ホームページをご覧ください

- ◆問合せ 市民健康課(保健センター) ☎978-3511

パープルリボンキャンペーン キルトプロジェクト



さんもくナイトの様子

ほっと越谷では、DVを含めた暴力の防止を身近に感じるきっかけを作り出すこと、また、製作現場でもつながりや共感の思いを抱いてもらえたらと、女性自立支援センター「はればれ越谷」と連携して、平成24年からプロジェクトをスタートしました。今年も、七夕フェスタオープンングイベントに合わせて製作を開始しました。11月25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」に向け、大人から子どもまで多くの協力を得てプロジェクトへの参加者も年々増えています。



平成27年キャンペーンキルト(一部)

サポートの必要性を知っていただくため、10月の「さんもくナイト」でパープルリボンキルトを作成します。ゆったりとした時間を過ごし、ぜひお越しください。

女性が声を上げにくい社会では、さまざまな場面で周りからのサポートが必要です。ほっと越谷では、広く地域の方に

- ◆利用時間 午前9時～午後9時(日曜日は午後5時まで)
- ◆休所日 月曜日、祝日(月曜日が祝日の場合は火曜日も休館)、年末年始
- ◆場所 大沢3の6の1 パルテきたこし3階
- * 各種イベントや出張講座なども行っています